

2008年6月14日勉強会

佐伯啓思『自由とは何か』1章～3章

発表者 嶋田

参加者：栗山 中山 十河祐子 十河晃太郎 久富

記録者 久富

《雑談・中山さんの専攻分野・最近の事件について》

○個人が他者との繋がりを求める→分かり合えない（孤立）

→同一の人格を求める→他との差異を排除する

ひきこもり・オタクのイメージ…暗い・陰気・話下手

・いつからオタクは市民権を得たか

ホリエモンのイメージ…食欲・人間らしいカリスマ

・ホリエモンのような人間が社会に受け入れられ、むしろ称賛されるようになったのはなぜか

→市場原理主義がホリエモンを生み出したのではないか（島田研志郎説）

85年プラザ合意→変動相場制による円高→地価高騰→不良債権処理のために市場原理主義を取り入れる→97年山一証券倒産→小泉構造改革

新書『会社はだれのものか』

株主か社員か…金銭か忠誠か→以前は会社に対する愛国心のようなものがあった

・個のイメージ…オタク・ひきこもり

会社と家を往復するサラリーマン

家族がいればどうか？…最近では家族がいても個

個人が集まって暮らしている感覚なのではないか

→「無償の愛」の欠如

《レジュメ内容の説明》

レジュメの第一章4項について

○どうしてアメリカは干渉するのか

⇔初期はモンロー主義（欧米に対して）（国際連盟時）

ユダヤ陰謀説・ユダヤのためのアメリカ・フリーメイソン・9.11はvsイスラム

・アメリカ…世界の警察 いつから自由民主主義の伝道者（強制者）となったか

パールハーバー以前は世論としては反戦主義

日本→韓国→ベトナムと戦争を経る中で変わっていったか 軍事特需

・アメリカは自由よりお金第一主義か

金=幸福の象徴 金=勤勉さの評価 (プロテスタンティズム)

○アメリカに強制される自由・民主主義

→力を背景… 1、軍事力 2、文化的

文化的な強制の例として…イスラムの女性のヴェール解放・ファストフードの流行

女性の積極的な社会進出

ネパール・ブータン王朝の崩壊…王政より民主化は良いものというイメージがあるか

「自由」のイメージとは？

野原・飛び回っている・鳥・息ができる・広大な大地→日本人的？楽天的？時代的？

民衆を導く自由の女神 (フランス革命)

・ハリウッドがもてはやされる…洋画は感情移入しにくい

→日本の映画が衰退した時期

現在は逆輸入的な感覚で国内でも邦画が注目されている (どこか日本人的？)

「Always 三丁目の夕日」について

どこがいいのか…昔ながら・ノスタルジー

今とどこが違うのか…子供に元気がない・近所の躰

近所の躰が消えたのは個人主義の浸透によるものか

→裕福な地域ほど近所との繋がりが弱い

→自己中心主義=不干涉主義

○個人主義について

・同じ個人主義でもヨーロッパの家庭の躰は厳しい。日欧個人主義の違いは？

…時間の問題 (日本が欧米型の個人主義に完全になじめていない)

…家庭が裕福なため他人に頼る必要がない

・自己中心主義と不干涉主義は同じか

個人が他者との繋がりを求める→同一人格を求める→他との差異を排除

なぜ差異を排除するのか…否定される感触・他人に対する想像力のなさ

自己中心主義はあくまでも他人が自分に合わせることを要求する→可能

他との差異を排除する→根本的な問題として不可能

価値相対主義…

- ・他との差異を排除→人類補完計画

人と対立することや摩擦を恐れる

人にはわかり合えない部分があり、そこに触れられたくない

“個”とはATフィールド？

- ・佐伯先生と大沢先生の“個”の違い

大沢先生…内面的な“個” 佐伯先生…他者との関係における“個”

《疑問点・気になること等》

- ・社会契約論について佐伯先生はどう考えているのか…否定的？

『人間は進歩してきたのか』でパークの歴史の連続性・権力の受け渡しについて言及